

市民協働によるまちづくり

そろそろ

「地域デビュー」

しませんか？

市は、「市民協働によるまちづくり」を進めています。市民協働とは、市民や、町内会、NPO法人をはじめとする市民活動団体、事業者などの皆さんと市が、お互いの立場や特性、目的を認め合い、「みんな」で千歳を住みよいまちにするために協力することを言います。すでに、何らかの形で、まちづくりに参加している方がたくさんいます。しかし、まちを良くしたいけれど、どうやって行動したらいいのか分からない方も大勢いるのではないのでしょうか？ 今の特集は、どうすれば、まちづくりに参加できるのか、また、実際に、まちづくりに参加している方や事業などを紹介します。「地域デビュー」して、あなたもまちづくりに参加しませんか？



初めの一步は、情報収集すること！

まちづくりに参加するための最初の一步は、市内でどのような市民活動が行われているか、また、どのような市民活動団体があるのかを知ることです。情報収集の方法として、「市民活動交流センター」「ミナクール」では、団体が開催するイベント情報や、団体の会員募集などの情報を知ることができます。市ホームページ「市民協働・縁結びプラザ」では、市内でまちづくりに参加している団体などの活動内容を紹介しています。また、携帯電話やパソコンから市ホームページ「メール配信サービス」の市民協働情報に登録すると、市民活動団体が実施するイベントなどの情報が随時、配信されます。情報を収集して、やりたいことが決まったら、興味のある団体に加入したり、仲間を集めて団体をつくるなど、行動に移してみよう。



※こちらの二次元バーコードを携帯電話で読み取ると、「メール配信サービス」に登録できます。

市民活動を支援する仕組みがあります！

新たに団体をつくるなど、まちづくりへの参加方法が決まったら、市民公益活動団体として、市に登録してみませんか？市民公益活動団体とは、市内で、自主的・自立的に社会貢献活動を行う、営利を目的としない団体で、現在、42団体が登録しています。団体として登録すると、「3つのイイコト」があります。

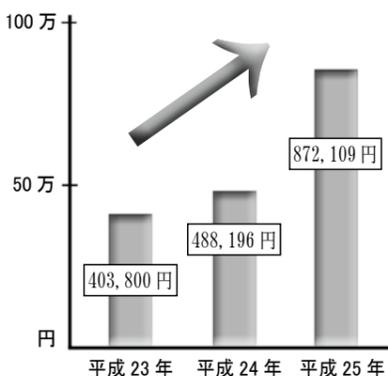
★市民公益活動団体に登録するための4つの要件

- ① 5人以上の会員で組織している
- ② 規約や会則などで、社会貢献活動の分野を明らかにしている
- ③ 予算・決算を適正に行っている
- ④ 原則1年以上継続して活動している

「3つのイイコト」とは？

- 1 **定額自動寄付制度「きふ・とも」に登録できます**
「きふ・とも」は、福祉・教育・環境保全など、さまざまな分野で社会に貢献している市民公益活動団体を、市民の寄付によって応援する制度です。団体と市民の皆さんをつなぐ、「100円から始まるあなたの社会貢献」として、北洋銀行千歳中央支店と市の協働企画により誕生しました。市民公益活動団体に登録すると制度を利用でき、市民の皆さんからの寄付によって、活動の幅を広げることができます。制度の開始から4年がたち、寄付金額（下の図を参照）は、安定した伸びを見せています。

図：きふ・ともの寄付金額



2 協働事業が実施できます

協働事業とは、市民活動団体と市が連携して、公益的な事業を企画実施するものです。協働事業には、市民活動団体が持っている、知識や技術をまちづくりに生かすため、市に事業を提案する「市民提案型協働事業（原則2年間）」があります。「市民提案型」は、いつでも

3 「縁結び事業」を活用できます

事業者（千歳工業クラブ会員企業）と市民活動団体をつなぐ「縁結び事業」は、事業者と団体、双方が連携・協力して、社会貢献活動ができるように、市が仲介支援する事業です。それぞれが「手伝ってほしい、手伝いたい」ことを市ホームページ「縁結びプラザ」に掲載しています。

【実施できる事業】

- ▼ 協働して取り組むこと、まちの課題が解決できる
- ▼ 市民の満足度が高まり、体的な効果が期待できる
- ▼ 役割分担が明確で、より相乗効果が高まる事業

【補助金の額】

事業に必要な費用の全額（市民提案型は、上限100万円）



市民活動交流センター「ミナクール」
あおき まさよ
青木 昌代 センター長

「ミナクール」って、どんなところ？

ミナクールは、一般社団法人ちとせタウンネットワークが市民協働プロモーション事業として運営している、市民活動における交流の場です。

市民活動団体のイベントや、会員募集などについて、スタッフが市民の皆さんに情報を提供しています。

千歳に転入した方から、「子どもを通わせる英会話教室はありませんか？」などの相談を受けたこともあり、異動者が多い千歳にとって、まちの中の活動を知ることができる重要な場所になっています。

また、市民活動団体の打ち合わせや作業の場として、施設を無料で利用することができます。

市民活動に少しでも興味がある方、ぜひミナクールへ気軽に足を運んでみてくださいね。



ミナクールのスタッフ
まちづくりコンシェルジュ
竹田さん(左)と鈴木さん

市民活動交流センター「ミナクール」
千代田町5丁目7-1
千歳市民ギャラリー4階



縁結び事業
イメージキャラクター
むすびん

市民協働の制度を活用して、 こんな「まちづくり活動」が行われてきました！

スナッグゴルフ普及振興事業 市民協働サポート事業 + きふ・とも



千歳スナッグゴルフ普及振興会
ゆきお 三上 幸男 事務局長

平成22年度から2年間の市民提案型協働事業として、教育部スポーツ課と協働し、スナッグゴルフ普及振興事業を実施。現在は、段階的に補助金が減額する、市民協働サポート事業に移行し、会の自主運営を目指している。

スナッグゴルフは、道内で、千歳に最初に導入されたニュースポーツです。導入当初、千歳でスナッグゴルフが根付いていくのか、心配でしたが、教育部スポーツ課との協働事業により、大会の運営や体験会を実施することができました。今では、大会や体験会への参加者が毎年増加しています。

4月からは、市民協働サポート事業の補助金がなくなり、いよいよ会の自主運営になります。

資金面では、正直不安もありますが、「きふ・とも」で、個人から7人、地元企業2社から寄付をいただいています。また、市内企業がスポンサーとして、大会時の飲料水を提供してくれるなどの支援もいただいています。

このような寄付をいただけることも、千歳でスナッグゴルフが根付いている証拠だと実感でき、とても嬉しく思っています。今後は、いつでも気軽にスナッグゴルフができる環境をつくっていくことが目標です。

スナッグゴルフが、気軽にできる環境をつくっていききたい！

市内空地の雑草繁茂状態解消事業 市民提案型協働事業



千歳地方隊友会 千歳支部
すえむら ともゆき 事務局長

平成25年度から2年間の市民提案型協働事業として、市民環境部市民生活課と協働し、市内空地の雑草繁茂状態解消事業を実施している。

これからも、協働事業に積極的に参加していきたい

千歳地方隊友会は、市内の退職自衛隊員などによって構成し、2,000人以上の会員がいます。

支笏湖での植樹ボランティアや、主催の防災訓練でロープワークの指導など、地域への貢献活動に取り組んできました。

現在実施している「市内空地の雑草繁茂状態解消事業」は、「地域全体の発展に貢献する」という隊友会の目的に合致し、また、市内全域に会員が居住しているため、私たちに適任だと思えました。昨年は、6月と8月の2回、市内全体の空地の雑草繁茂状態を確認し、市に報告しました。

地域に貢献できることや、行政の役に立っていると実感でき、会員一人ひとりのやりがいにつながっていることは、隊友会自体の活性化にもつながっています。

これからも、私たちにできる協働事業に、積極的に参加していきたいです。

子育てママを応援する託児付手作りパン教室 縁結び事業 + ひと・まちづくり助成事業



北海道ガス株千歳支店が縁結び事業として提案したこの事業に、千歳パン・料理教室が応える形で協働が実現しました。

普段、子育てに追われている乳幼児を持つママを応援するため、子育て支援を目的に「子育てママを応援する託児付手作りパン教室」を開催しました。

参加料だけで賄えない経費は、ひと・まちづくり助成事業を活用しました。

当日は、乳幼児を子育て中のママたちが集まり、子どもを預けてゆつくりパンづくりを楽しみ、出来上がったアンパンマンの形をしたパンを親子で食べ、会話も弾んでいました。

青少年のための科学の祭典千歳大会 市民提案型協働事業 + 縁結び事業



「青少年のための科学の祭典千歳大会」は、幼児や小学生などに、幅広い分野の実験、観察を体験してもらうことで、理科・科学技術に興味関心を持ってもらうことを目的に、毎年11月に市民文化センターで開催しています。

毎回、30以上になる実験・観察ブースは、科学技術大学などの教育機関や企業、市民活動団体などが出展しています。

平成24・25年度から、青少年のための科学の祭典千歳大会実行委員会と、市の教育部生涯学習課および産業振興部科学技術振興課の協働事業として実施しました。

平成25年度は、縁結び事業を活用し、市内立地企業に協力を呼びかけたところ、2つの企業の出展が実現しました。

ひと・まちづくり助成事業には、
こんな事業の申請がありました！

事業名	障がい児者移動支援ボランティア育成事業
実施者	千歳ひまわり号を走らせる会
実施年度	平成23年度
事業の内容	宿泊を伴う障がい児者の旅行をサポート
助成金額	546,000円

事業名	市民討議会
実施者	一般社団法人 千歳青年会議所
実施年度	平成25年度
事業の内容	まちづくりに対する意見を、市民の視点で抽出し、まとめる事業
助成金額	320,000円

【実施できる事業】

- ▼市民協働の担い手を育てる事業
- ▼生涯学習の振興につながる事業
- ▼公益的な事業、社会貢献につながる事業

【補助金の額】

事業に必要な費用の50%

市民の皆さんが「地域づくり」や「ひとづくり」につながる市民活動をはじめるときや、既存の活動を拡大するとき、必要な経費の一部を市が助成する「ひと・まちづくり助成事業」があります。

市民公益活動団体でなくても、受けられる助成が！

今こそ「地域デビュー」
してみませんか？

今回ご紹介したのは、市内で行われている市民活動のほんの一部です。

市内では、防犯、防災、福祉、公園管理など、さまざまな分野でまちづくりに関わる活動が行われています。

市民の皆さんによる活動が活発になること、市と一体になって住みよいまちにしていくこと、これが「市民協働によるまちづくり」です。

「市民活動は難しそう」、「敷居が高い」、そんな思いを持っている方も、勇気を出して、最初の一步を踏み出し、今こそ「地域デビュー」してみませんか？

特集記事の
お問い合わせ

企画部市民協働推進課
市民協働推進係

☎(24) 0452